

平成 21 年度第 4 回みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会 議事録

日時：平成 22 年 3 月 17 日（水） 午前 10 時～午前 12 時

場所：緑区役所 2 階 第 1 会議室

出席：村井委員長、井上副委員長、松岡副委員長、市木委員、中島委員、吉田委員、松浦委員、鈴木委員、小林委員、長嶋委員

（事務局：監物緑区福祉保健センター長、津田福祉保健課長、山本事業企画担当係長、林、児玉、井口、中丸緑区社協事務局長、草苧緑区社協事務局次長、足立）

（その他福祉保健センター等職員：西川高齢・障害支援課長、大庭こども家庭支援課長、間瀬保険年金課長、渡辺生活衛生課長、渡辺区政推進課長、竹内地域振興課長）

（敬称略）

内 容

開会あいさつ

- ・ 村井委員長よりあいさつ

議事 1 第 2 期区計画について

- ・ 資料 1 に沿って、第 2 期みどりのわ・ささえ愛プラン区計画基本案について、事務局案を提示。

《区計画基本案の概要》

(1) 区計画基本案の策定趣旨

第 1 期計画の基本理念・基本目標・小目標を概ね継承しつつ、緑区全体の共通課題、地区をまたぐ課題等について検討していく。

(2) 基本理念について

区民アンケートの結果を受けて、「つながり」という言葉を入れた。

(3) 基本目標について

基本目標 1 は全ての基本目標に結びつくものとして位置づけた。

(4) 小目標について

第 1 期計画の小目標を継承しつつ見直しを行う。

(5) 具体的な取り組みについて

第 1 期計画の内容を継承しつつ、(1) 地域、(2) 地域ケアプラザ、(3) 区社協、(4) 区役所の取り組みについて、できるだけ具体的な評価指標を盛り込んだ内容として、地区別計画の策定状況と照らし合わせながら再構築していく。

→「第 2 期みどりのわ・ささえ愛プラン区計画基本案」について、委員全員からの承認を受ける。

質疑・ご意見

吉田委員：前回の議事録にもあるとおり、第 2 期計画では地区別に目標をたてていくことからすると、区計画の小目標として具体的な取り組みを地域・地域ケアプラザ・区社協・区役所それぞれ網羅していった場合、計画自体が総花的なものになることが懸念されると思う。第 2 期計画は実現可能なものを目指していくことからすると、実効性が薄れてきてしまうのではないかなと思う。

村井委員長：今回の提示案は区全体の計画であって、区計画としてはこのような枠組みの中で支援していくものであり、一方、地区別計画においては、今回の基本案を参考にしながら個々の地区が自由な発想の中で、より生活に密着した具体性のある計画を検討していくものであれば問題ないと思う。

事務局：区計画は、地区をまたぐ課題、地区だけでは解決できない緑区全体で取り組むべき課題に対して検討していくものであって、第 1 期計画は区全体の計画のみであったため、ご指摘のとおり

- 総花的であった部分は否めない。第2期計画においては、区計画と地区別計画の双方向から緑区全体の地域福祉保健の推進に向けて取り組んでいくこととして、ご理解いただければと思う。
- 松浦委員：基本目標については「つながり」に重点を置いて、5つの目標を設定していることはわかるが、小目標に関する具体的な取り組みのまとめかたは、4つの団体等が並列に構成してあるだけのように思えるがどうなのか。
- 事務局：今回は区計画基本案のイメージをご理解いただくために提示した。4つの団体等（地域・地域ケアプラザ・区社協・区役所）が、それぞれの小目標についての取り組みを集約することで区計画を構築していくこととしてご理解いただきたい。資料の中では均等に割り振っているが、それぞれの取り組みを集約していく過程でウエイトも変わっていくことは想定している。
- 村井委員長：基本案では、基本理念について「つながりのあるまちづくり」と標記しているが、一方で、基本目標1で「つながりを大切にすまちなみづくり」としているのは、どちらかに整理したほうが良いと思う。つながりを大切にすることは重要だが、そのプロセスを経て実際に「つながりのある」としたほうが良いように思える。
- 松岡委員：第2期計画に関しては、より具体的であることがポイントだと思う。概念的なことを表現するよりも、実際に「つながりのある」と標記したほうが良いと思う。その中で、具体的に何を指しているのか検討するほうがよりわかりやすい。第2期計画の基本目標は実際に動くための目標として考えていくのが良いと思う。
- 市木委員：「つながりのある」としたほうが、より動きがあるように感じられる。今まで緑区は「つながり」を大切にしてきた区だと思う。第2期計画においては、大切にしてきたことを実際に動くことから進めていく意味あいから「つながりのある」とするほうが良いと思う。
- 村井委員：「つながりのある」という表現にすれば、実際につながりがあったかということで具体的な評価ができると思う。大切にすまちなみづくりが、どれだけあったかを評価するよりも実際につながりあるように進めた取り組みを評価していくほうが、第2期計画には相応しいと思う。

議事2 地区別計画策定について

- ・ 資料2に沿って、地区別計画策定委員会の開催状況について説明。
(参考として各地区の委員名簿を添付)
- ・ 資料4（「みどりのわ・ささえ愛プランー地域での取り組み概況ー」3頁）に沿って、地区別計画策定に向けた今年度の取り組みとして、(1)地区懇談会での周知、(2)地区支援チームの立ち上げ、(3)地区別計画策定委員会の開催、(4)地区別計画策定連絡会の開催等について概略説明。
- ・ 資料4（「みどりのわ・ささえ愛プランー地域での取り組み概況ー」80頁）に沿って、地区別計画策定委員会規約について説明。

質疑・ご意見

- 松浦委員：地区別計画の策定に向けて、自治会の中であがった意見としては自治会に入っていない人とのつながりがとれないのが課題。また、高齢者同士のつながりとして老人会に入る人が少ないのも課題。自治会館では民謡・俳句の会・ダンス等の趣味で集まる会は活発に行われているが、年齢だけで募っている老人会は集まりが良くない。これをどのようにしてつながりに結びつけていくかが課題である。
- 村井委員長：近年、地域では団体というだけでは人を誘えない。具体的な目標や内容が明確であればあるほど人を引きつける。特に趣味的で自己実現的な目標があれば、積極的な参加促進も見込めるように思える。一方で、抽象的な「つながり」というだけであれば、老人会を含めて参加が見込めない傾向にある。もし可能であれば、将来、クラブ的なサークル活動同士で相互のつながりがあれば、新しいスタイルのネットワークも構築できると思う。
- 長嶋委員：竹山地区の一部の団地では、名簿の中に委員が含まれていないように思うがどうなのか。
- 事務局：地区別計画策定委員の選定にあたっては区連会をとおして各自治会に対して依頼している。各地区においては自治会長さんを中心にバランスよくご選出いただくようお願いしているが、オブザーバーとしての参加も歓迎しているので、是非、参加していただきたい。

松岡委員：地区別計画策定委員は、地区によってばらつきがあるので現場における話の進め方や内容も違ってくるように思える。例えば、現場のボランティアの人が委員会に参加することによって、より具体的な取り組みや内容について話し合えると思う。

事務局：地区で委員を選定いただくときに、選出に関する標準的な基準をお示ししたが、各地区で自主的に選んだ結果として今回の構成となっている。現行のメンバーでは足りないとか、他の意見も欲しい等のご指摘をいただいている地区もあるので、是非、オブザーバー参加もしていただければと思う。また、委員会開催後には報告書を作成して各地区で回覧していただくことを予定している。平成 22 年度には地区懇談会においても周知したいと考えている。引き続き、多くの住民の方に周知する努力をしていく予定。

中島委員：第 2 期計画は、住民が自立して地域での取り組み・具体的な活動について、課題集約を行いながら進めていくのが本来のあり方だが、実際には地区別計画策定委員会に出席している委員は、行政からの押しつけ感を抱いているように思える。本当はそうではなくて自分たちの地域のためのまちづくりとしての意識が必要だと思う。これは、昨今の日本の社会が利己的な考え方が多くなっていることにも関係しているが、今の少子高齢化をささえていくためには、住民が課題解決のために必要なことは自分たちでつくりあげるという意識を持って、行政はそれをサポートしていることを理解しないとうまく進まないと思う。

村井委員長：まさに地域福祉の本質論だと思う。住民自身の住民による自治が地域福祉であり、住民は行政も含めた全ての要素が協力する存在であり、常に地域に定着するようなメッセージを発信していかないと地域のニーズとしては根付かないと思う。また、実際にうまくいって手応えのある取り組みをしていかないと自分たちの手で変えられるという喜びも感じられないと思う。また、地区支援チームや策定委員会でも確認しておきたいこととして、自分たちでデザインするまちづくりや手づくりのまちづくりの楽しさに気づくことを全力で支援する方向で進めていただきたいと思います。

議事 3 区民アンケートについて

- ・ 資料 3-1 に沿って、区民アンケート報告書（成果物）の構成を概略説明。
- ・ 資料 4（「みどりのわ・ささえ愛プランー地域での取り組み概況ー」 65～78 頁）に沿って、区民アンケート調査結果の概要について説明。
- ・ 資料 3-2 に沿って、区民アンケート調査結果に関する記者発表資料（2/26）及び、神奈川新聞（3/9）、タウンニュース（3/11）掲載の記事について説明。

質疑・ご意見

村井委員長：今回の区民アンケートでは、基本目標 3 のみんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくりで、「場」は調査しているが、「機会」については調査していないように思える。緑区では福祉保健活動をより豊かにする様々なイベント・取り組みが行われていると思う。また、第 2 期計画においては、地区別計画そのものも「機会」であるので、今後、第 2 期計画を評価していく際には、地区別計画への参画のしやすさなども調査対象として、地区別計画を PR するための定期的なイベントも「機会」として開催していただきたい。

松岡委員：十日市場中学校の子どもたちに対してボランティアを地域で受け入れる活動をしている。区民アンケートではボランティアへの関心が高い結果となったが、現状では、ボランティアの募集というかたちだけで終わってしまっているように思える。人のために役に立ちたいという意識は大人も子どももあるわけで、本当にありがたいと言ってもらえる「機会」を増やすことによって、やらされ感ではなく、自分から存在意義が問われるボランティアを地区別に考えていくことが大切だと思う。

長嶋委員：不登校児のための親の会（相談会）のボランティアを月 2 回やっていて、親御さんや子どもさんと接していて勉強になってる。ボランティアをやって良かったと思っている。

議事4 平成21年度各種事業の報告について

- ・ 資料4に沿って、「みどりのわ・ささえ愛プランー地域での取り組み概況ー」平成21年度改訂版として作成した簡易製本版の概要について説明。
- ・ 資料4（「みどりのわ・ささえ愛プランー地域での取り組み概況ー」58～64頁）に沿って、平成21年度 区役所・区社協が協働で推進する事業として(1)地区別計画策定ステップ事業、(2)地区ボランティアセンター、(3)オトナの一期一会、(4)ハートバリアフリー事業、(5)第28回緑区社会福祉大会第2部の開催等について説明。

質疑・ご意見

吉田委員：東本郷地区のステップ事業において住民アンケートを実施したが、調査対象4,800世帯うち回収数1,800世帯で約38%の回収率であった。調査項目は、(1)地域のボランティアについて、(2)地域のささえあいについて、(3)子育て・高齢者・障害者支援について、(4)健康づくりについて、(5)安心・安全・健康についてという内容で行った。その結果、「地域におけるささえあい活動が必要だ」という回答は71%、「どちらともいえない」が15%、「かかわりたくない」が4%という内容で、地域におけるささえあい活動は大半の人が必要だと考えていることがわかった。また、地域のボランティアについては小中学校の生徒にボランティアをやってもらうことに23%もの人が賛同していることもわかった。これらの集計結果は整理した上で地域のために活かしていく予定。

中島委員：緑区において、地域福祉保健計画は区役所・区社協との一体計画として進められているが、今後も第2期計画を策定していく中で、区社協の事業をどのように計画に関連づけていくのか伺いたい。

事務局：横浜市地域福祉保健計画（市全体計画）においても、一体的な計画を促進している中で、緑区は、既に第1期から区役所・区社協との一体計画として策定し推進している。第2期計画の策定作業においても、区役所・区社協で事務局会議を開催して一体的に話し合いを行っている。また、それぞれの得意分野についてどちらが担うか等を明らかにして、一体計画としての利点を活かしながら、引き続き進めていく予定。

村井委員長：大きな枠組みとして、つながりづくりや人材・担い手育成という観点で、行政及び区社協の事業についても、企画づくり・共催・計画づくりとしてお互いに相乗りしていくことが、これからは大事になると思う。

市木委員：オトナの一期一会に参加しているが、区役所・区社協が地域の皆さんに呼びかけて、自分たちで動こうとするためのきっかけづくりができたと思う。地域の枠を越えたつながりとして、大変、貴重なものだと考えている。

鈴木委員：白山地区のステップ事業として「おたがいさまカード」は区社協とともに進めているが、大変、良い取り組みだと思う。手助けを必要とする人、手助けをしたい人をそれぞれ登録して、多くの人から手助けをしたいという声があがり、とても心強く思っている。

議事5 その他

井上委員：以前にもお話したが、地区別のアンケートについても、是非、検討して欲しいと思う。その結果にもとづいて事業の見直しを行ったり、11地区の特性に応じた事業展開や各団体との情報共有及び、住民に対しての周知活動の見直しも行えると思う。

閉会あいさつ

- ・ 緑区福祉保健センター長よりあいさつ

【次回開催日程】（平成22年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会）

日時：平成22年6月11日(金) 10:00～12:00 緑区役所2階 第1会議室で開催予定